

2020年 冬期「お釈迦さまの教えの実践法」全5回

12月30日（月）～1月3日（金）の5日間、午後3時から4時、浄心庵精舎において、「心と体の健康法～お釈迦さまの教えの実践法～（全5回）」講座が行われました。

年末年始宿泊瞑想会に功德行者として参加された、小学6年生2名が受講され、悪なる心所14についての勉強や瞑想を実践しました。

最終日の夕方6時より、瞑想者食堂において、「お釈迦さまの教えの実践発表会」が開催され、14名が参加されました。

講座最終日の翌朝、大長老は、五戒を守り、「お釈迦さまの教えの実践法」の勉強や作務の功德行を一生懸命に頑張った子供たちを称賛し、慈悲の溢れるお言葉とご祝福をなされました。

たくさんの功德を積まれた子供たちは、大変喜び、大長老のお導きで回向をして、喜んで帰られました。

子供たちの感想を掲載いたします。

※お名前とご年齢は、ご両親・本人の了解を得て、掲載させていただいております。



● お釈迦様の教えの実践法 仏暦2563年 令和2年 西暦2020年 1/3 感想文

・自分はこの7日間でもとても大切なことを学んだと思います。このこうぎは5回しか無かったけれど、この5回だけでもとてもよかったと思っています。今回のこうぎでは、14のふぜん心を学びました。始めはなかなか無いような心ばかりだったけれど学ぶにつれて自分にもある心がいくつか出てきたのでおどろきました。吉田さんの話を聞くと、お釈迦さまは今のいっしゅんいっしゅんやいっしゅんのその間までも気づいていたと聞き、改めてお釈迦さまのすごさをまた新しく知りました。その14のふぜん心を無くすためにはその、気づき、が必要で、そのためには努力しないと、できないということも学びました。今回学んだ14のふぜん心のものにも一つ一つしっかりとした意味があり一つの心が出るとまた他の悪い心が出るというれんさが起こるとさらにいかりや悪い心が出てしまうからそのれんさが起こる前に気づいて直せばいいというものも学びました。けれどもその気づきが簡単そうに聞こえるけれどもそれがとてもむずかしくて今みんなはその心をなくすためにがんばっていることも知りました。それを聞く前は、こんなのできるかな…と不安でしたがみんながやっているということを知ってそんな不安はなくなりました。自分もその気づきを意識して生活することを心がけました。すべてをなくすことはできないので

少しでもいいからその悪い心を無くしていきたいと思いました。

---じょうしんあんについて-----

・ここにきて久しぶりに夜の説法を聞いて知識がさらに増えました。朝の礼拝時間は、めいそうが始まる前に、いつも先に帰っているけれど新年のときにめいそうしたらこうぎの時とちがってふんいきがちがくてさらに集中できました。夜の説法で体を楽にするには、食べるときのめいそうの仕方などを聞いてうれしかったです。今までセヤードーのすごさは知っていたのでいいですけどもっとくわしくはしらなかったののでいつか聞こうと思っていたけれど忘れてしまって言えませんでした。ですけど、吉田さんの話を聞いてこんなにもすごい人がこんなに近くにもいると考えると信じられないくらいです。これからもこのかんきょうを大切にしていきたいです。

道上潤一郎 愛知県 6年生

● お釈迦様の教えの実践法

ぼくは、この10日間いろいろなくどくをえてたくさんエコーが出来ました。そして、新しくなった事は、14の悪い心です。ぼくは、教えてもらった時、あたりまえのような悪い心とおどろくような悪い心があり、とても、勉強できてよかったです。そしてこのような勉強は他の場所では、教えてもらえず、セヤードーのようなおぼうさまにも会えず、瞑想のやりかたもわかりません。ここは、いるだけでとてもいい気がして、そして、悪い心は、気づいてなおせるのですごい良い事を教えてもらい、よかったです。

そして、瞑想は、しずかな所でやると、心がきよらかになりとてもいいきぶんになり、いいけいけんが引きよかったです。そして、礼拝を口から声を出してとなえることが、ここでは出来るので、とてもよかったです。そして、サムのごとがいちばん楽しいです。食堂でおぼえた事が家でもできるので家でもくどくがつめて、うれしいです。これからもお釈迦さまの教えがつづいてほしいと思います。

知見虎太郎 6年生

